

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	GP Graphene Ink
製品コード	GP01010500、GP01010501、GP01010502
輸入者	グラフェンプラットフォーム株式会社
住所	東京都渋谷区恵比寿南 1-15-1 A-PLACE 恵比寿南 2 F
電話番号	03-3791-3711
作成日	2017年11月30日
改定日	2018年05月11日

2. 危険有害性の要約

2.1.GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分4

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分4

急性毒性（経皮） : 区分4

急性毒性（吸引：蒸気） : 区分4

急性毒性（吸引：粉塵、ミスト） : 区分4

皮膚腐食性／刺激性 : 区分4

目に対する重篤な損傷／目刺激性 : 区分2

呼吸器官作性 : 区分外

生殖細胞変異原性 : 区分外

発がん性 : 区分外

生殖毒性 : 区分外

特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） : 区分1（中枢神経）
区分2（肺）

特定標準臓器／全身毒性（反復暴露） : 区分1（肺）

上記に記載できないものは、分類できない、分類対象外

2.2.GHS ラベル要素

シンボル：感嘆符



注意喚起用語：危険

有害性情報

H227 引火性液体

H302 飲み込めば有害

H312 皮膚に接触すると有害

H319 強い眼刺激

H332 吸引すると有害

注意書き：

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

防爆の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。環境への放出を避けること。

【救急処置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。

吸引した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

吐かせないこと。気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：無理して吐かせないこと。医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚（又は毛髪）に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

暴露またはその懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名または一般名：イソホロン

成分及び含有量：30～40%

化学特性（化学式）：C₉H₁₄O

CAS No.：78-59-1

官報公示整理番号（化審法・安衛法）：非公開

化学名または一般名：炭素素材

成分及び含有量：39～48%

化学特性（化学式）：C

化学名または一般名：樹脂

成分及び含有量：20～30%

4. 応急措置

4.1. 応急措置の詳細

皮膚に付着した場合：

速やかに有害物質が付着した衣服・靴を取り除くこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合：

水で15分間洗うこと。

医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

口をすすぐこと。

医師の診断/手当てを受けること。

吸引した場合：

被災者を新鮮な空気の所に移し、安楽な状態にする。

医師の診断/手当てを受けること。

4.2. 予想される急性症状及び遅発性症状

情報なし

4.3. 応急処置の必要性

情報なし

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤：

適切な消火剤を用いる。泡、噴霧水、炭酸ガス、粉末を用いる。

5.2. 火災時の特定危険有害性：

火災時には有害ガスが発生することがある。

5.3. 消火を行う者の保護：

必要に応じて自給式呼吸器と適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項：

作業の際には適切な保護具を着用する。

蒸気やミストを吸引しない。換気をする。

6.2. 環境に対する注意事項：

流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を起ささないように注意する。

6.3. 回収方法：

乾燥土や砂で吸収し、不活性吸収剤を充填し、密閉できる空容器に回収する。後で有害廃棄物として廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 取扱い：

製品が身体に付着しないようにする。

取扱いは換気の良い場所で行う。

空気中への噴霧は避けること。

7.2. 保管：

容器を密閉して涼しく換気のよいところで保管する。

(直射日光、熱、火花、直火を避ける)

7.3. 特記事項：

特になし

8. 暴露防止及び保護措置

8.1.項目：

管理濃度	設定されていないが換気の良い場所で使用する。可能であれば、作業は排気装置またはその他の設備で空気中の水準を推奨される暴露限度以下に保つ。
------	--

8.2.暴露防止：

設備対策	十分な換気を確保すること。
呼吸器用の保護具	防塵マスク
手の保護具	耐薬品性手袋
目の保護具	保護眼鏡、洗眼設備
皮膚及び身体の保護具	保護服

9. 物理的及び化学的性質

9.1.物理的及び化学的性質：

形状	ペースト
色	黒色
臭い	わずか
pH	6-7
融点	<0℃
沸点	>280℃
引火点	データなし
発火点	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
相対密度	データなし
溶解度（水）	データなし
溶解度（溶剤）	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
粘度	4,000 - 5,000 mPa.s
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	適切な輸送・保管条件下では安定である。
安定性：	常温常圧下では安定である。
危険有害反応可能性：	情報なし

避けるべき条件： 熱、高温
避けるべき材料： 強酸化剤
危険有害な分解生成物： 一酸化炭素（CO）、未知炭化水素

11. 有害性情報（ジアセトンアルコール）

急性毒性：

樹脂 LD50（ラット） >2,000 mg/kg

12. 環境影響情報

有毒性：

情報なし

残留性/分解性：

情報なし

生物蓄積性：

情報なし

土壌移動性：

情報なし

その他：

情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法： 適切な容器に移し、廃棄物処理業者に委託処理する。

容器の廃棄： 未使用品として処分する。

14. 輸送上の注意

この製品は分類されていない。

15. 適用法令

労働安全衛生法： 情報なし

消防法： 情報なし

毒物劇物取締法： 情報なし

悪臭防止法： 情報なし

PRTR法： 情報なし

船舶安全法： 情報なし。

海洋汚染防止法： 情報なし

16. その他の情報

- 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意をお願いします。
- 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。
 - 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いについては、この点のご配慮をお願いします。